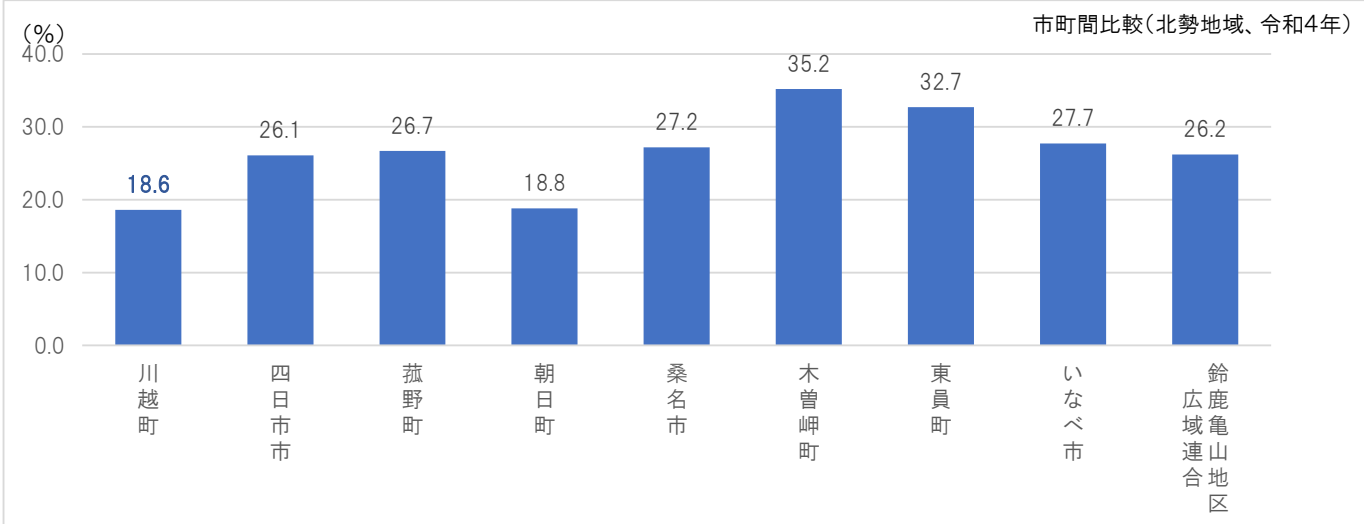
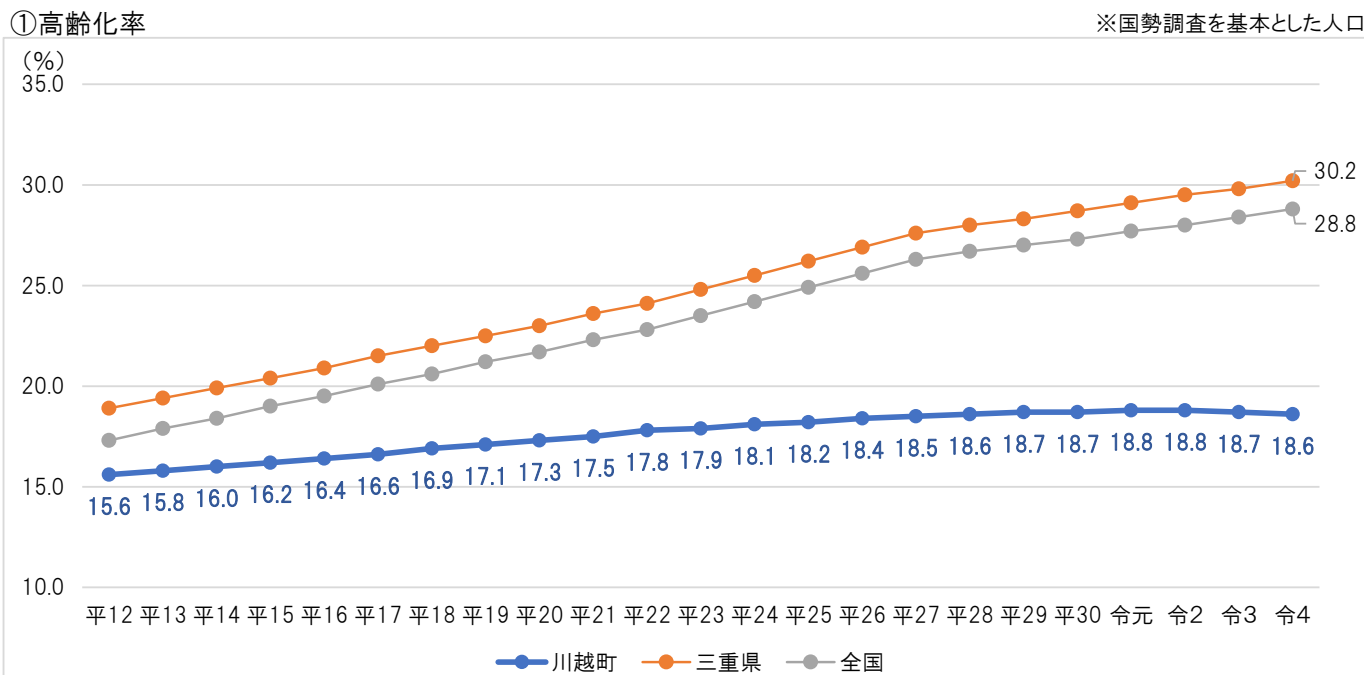


介護保険サービスにかかる地域分析（全国、三重県、周辺市町との比較）

この資料は、次期計画の策定の基礎資料として、厚生労働省の地域包括ケア「見える化」システムを用いて、川越町の介護保険サービスの特徴等を分析したものです。データは、基本的に国の統計（介護保険事業状況報告（年報、月報）、国勢調査等）を用いているため、一部、町のデータと整合しないものがあります。

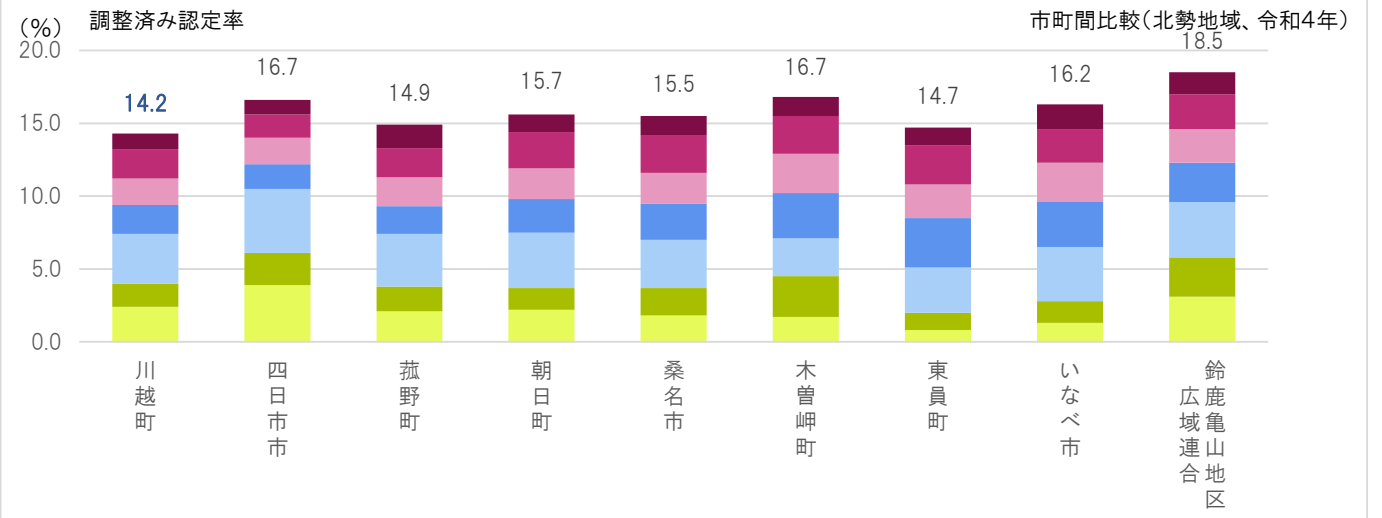
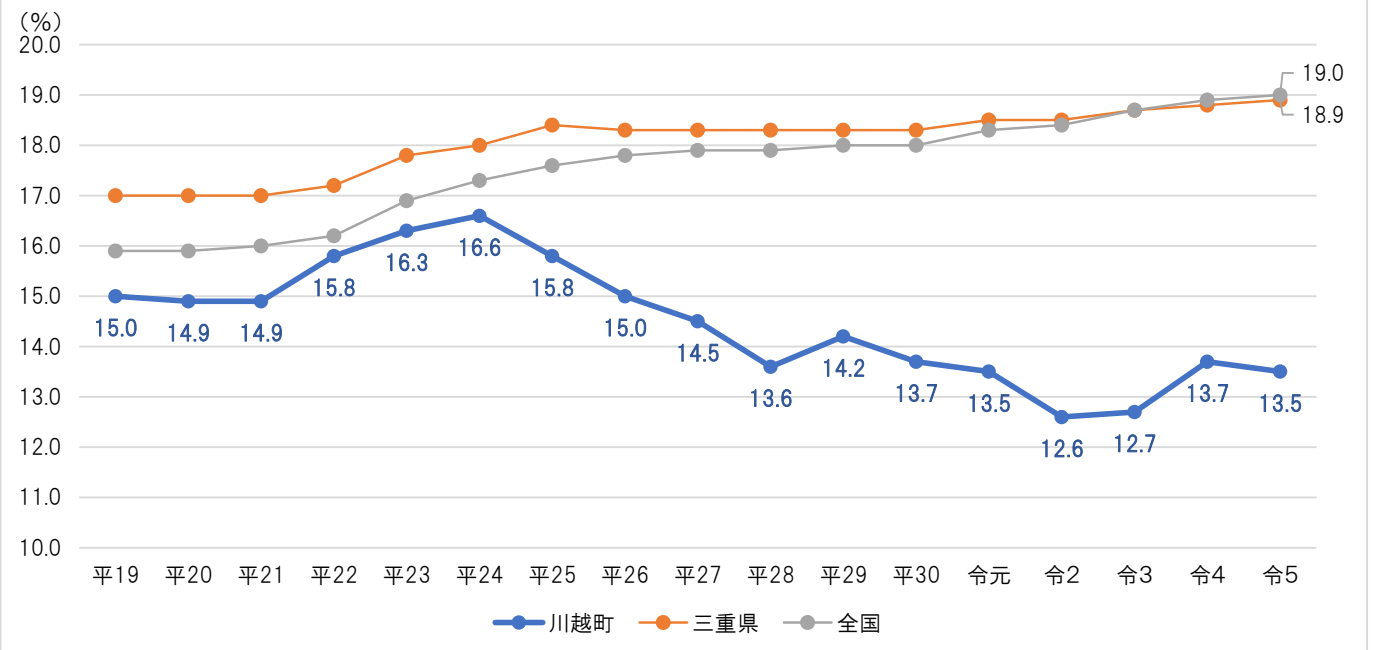
1 高齢化率・要介護認定率の比較



高齢化率は横ばいから微減で推移しており、国・県との開きが年々拡大しています。また、三重県北勢地域の中でも、朝日町と並んで最も低い高齢化率となっています。

②要支援・要介護認定率

※第1号被保険者(65歳以上のみ)、各年3月末時点



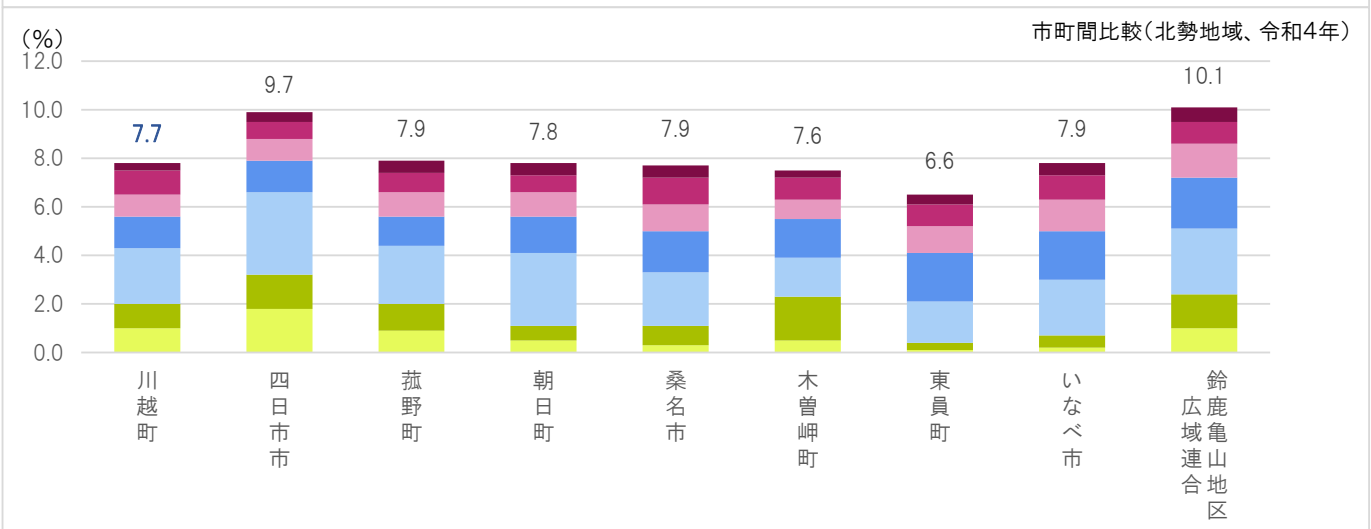
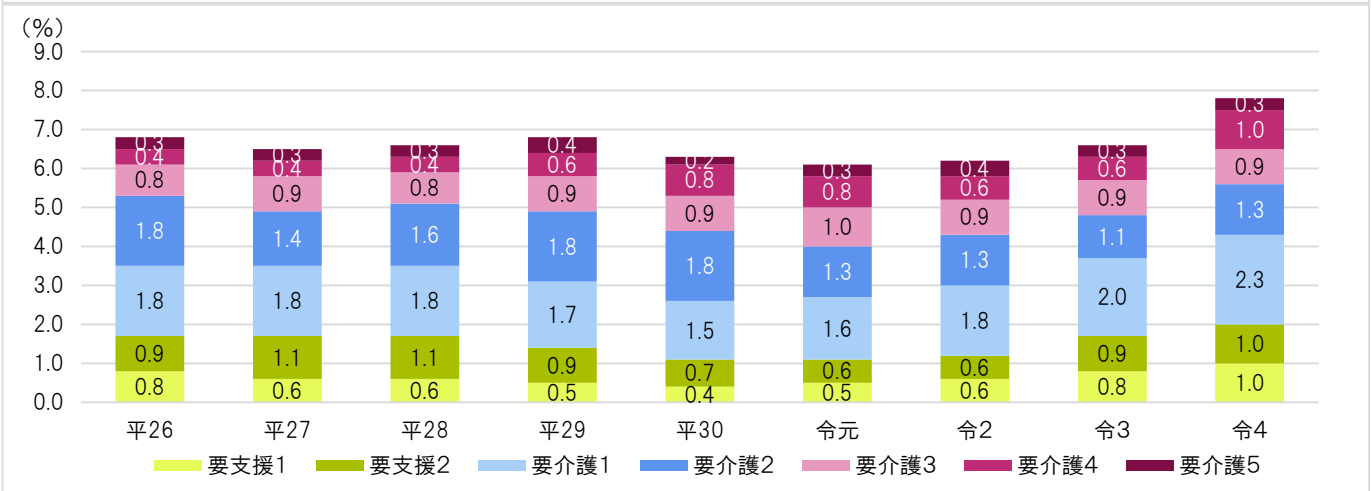
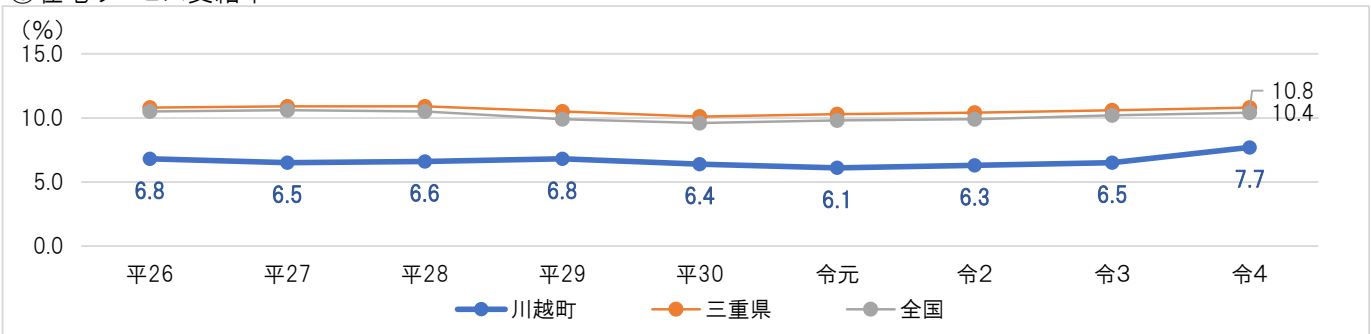
認定率は、依然、国・県よりも5ポイント以上低いですが、令和2年3月時点の12.6%から徐々に上昇し、令和3年3月から令和4年3月の1年間で1.0ポイント上昇しています。その後は再び低下しています。北勢地域の中では、依然として最も低い認定率(調整済み認定率)となっています。

※「調整済み認定率」とは、認定率の多寡に大きな影響を及ぼす、「第1号被保険者の性・年齢構成」の影響を除外した認定率を意味する。調整することによって、第1号被保険者の性・年齢構成以外の要素の認定率への影響について、地域間・時系列で比較がしやすくなる。

2 サービス3区別受給率の比較

※受給率とは、サービスを受けた人の総数を第1号被保険者数(65歳以上)で割ったものです。各年度のひと月平均の値を表しています。

①在宅サービス受給率

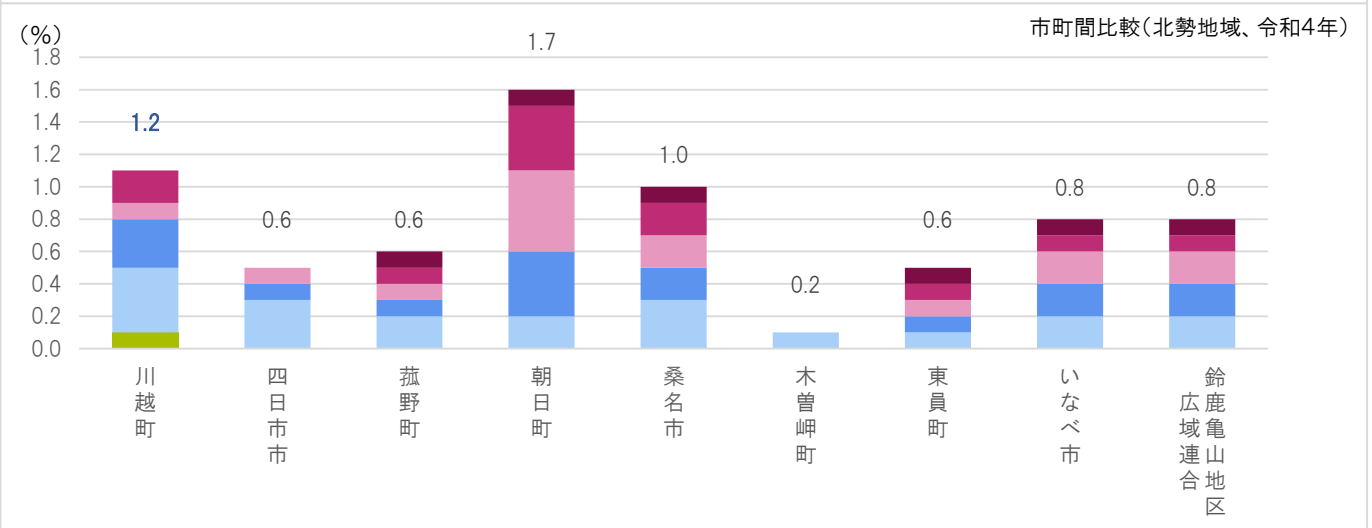
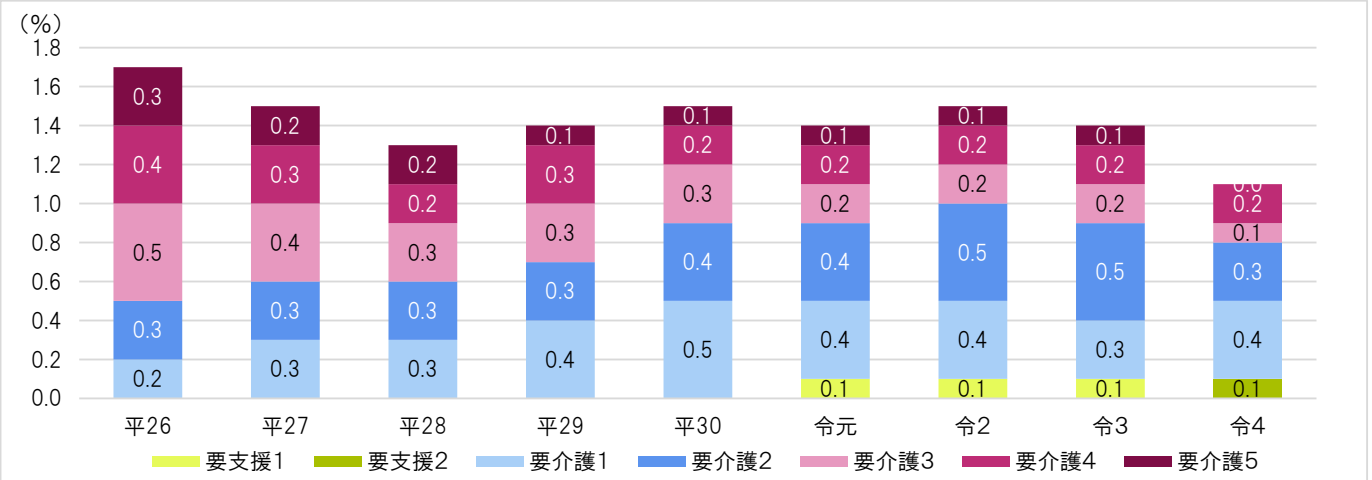
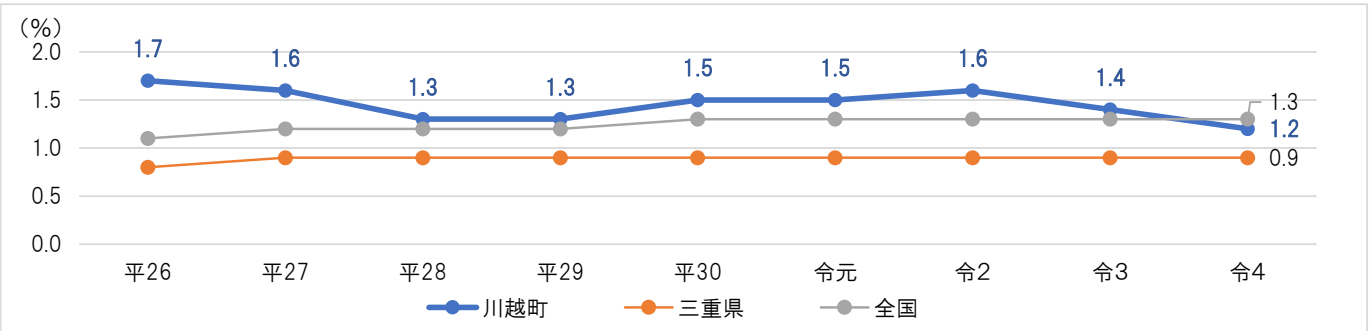


※要介護度別の数値は小数第2位を四捨五入しているため、要介護度別受給率の合計が「川越町」全体の値と合わない場合があります。(以下同じ)

在宅サービスの受給率は、平成30年度の総合事業の開始により低下しましたが、その後は横ばいで推移してきました。依然として、国・県を大きく下回っていますが、令和3年度から4年度にかけて1.2ポイント、特に軽度者を中心に上昇がみられます。北勢地域の中では、四日市市よりも2.0ポイント低いものの、他市町とはほぼ同水準となっています。

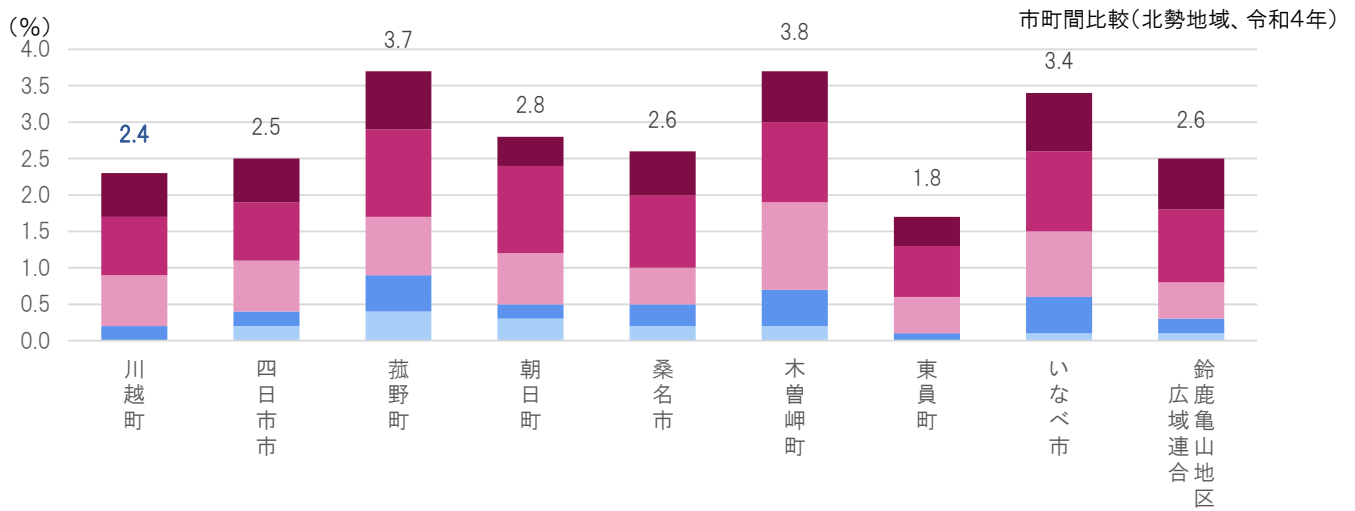
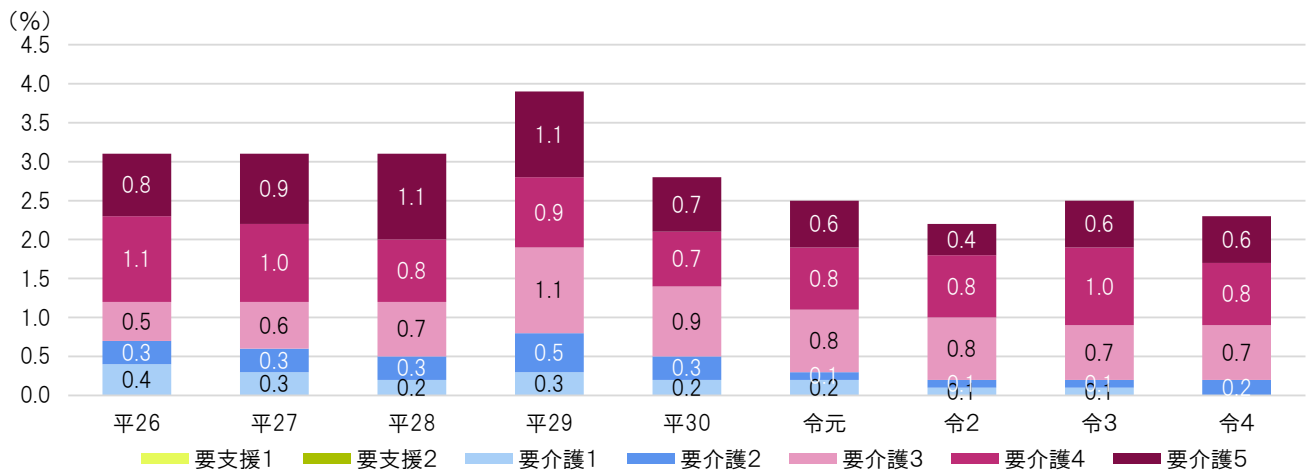
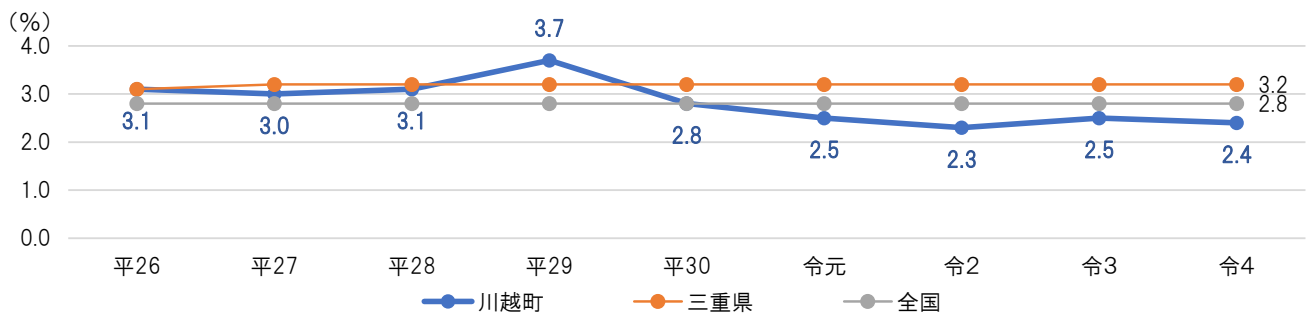
②居住系サービス受給率

※居住系サービスには、特定施設入居者生活介護(介護型の有料老人ホーム等)と認知症対応型共同生活介護(グループホーム)があります。



居住系サービスの受給率は国・県を上回って推移してきましたが、近年低下傾向にあり、国、県の水準と同水準となってきています。一方、北勢地域の中では、朝日町に次いで高い水準となっています。

③施設サービス受給率

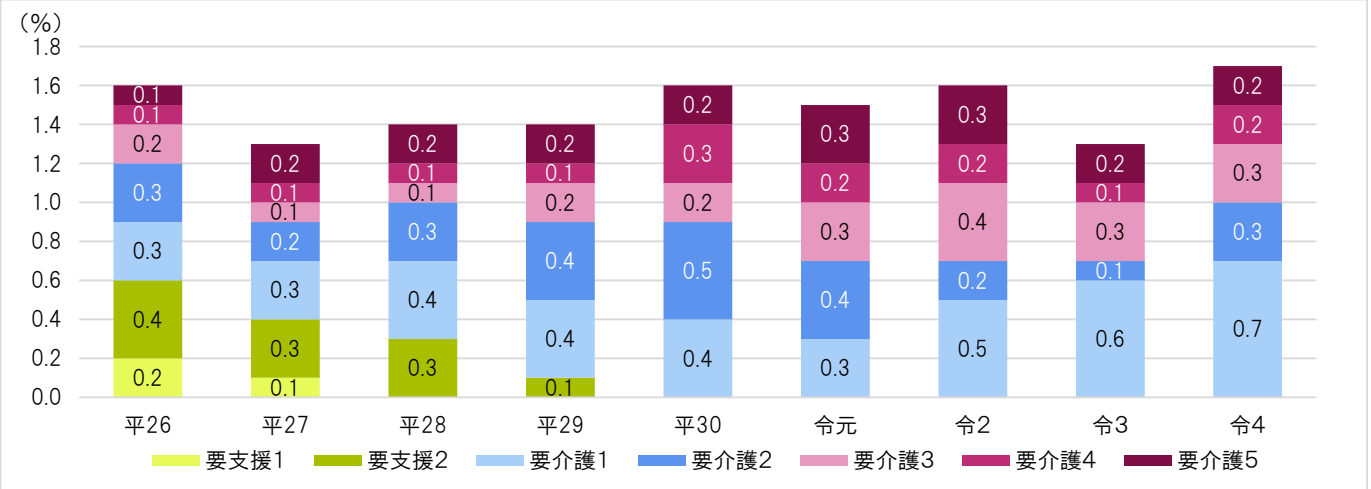
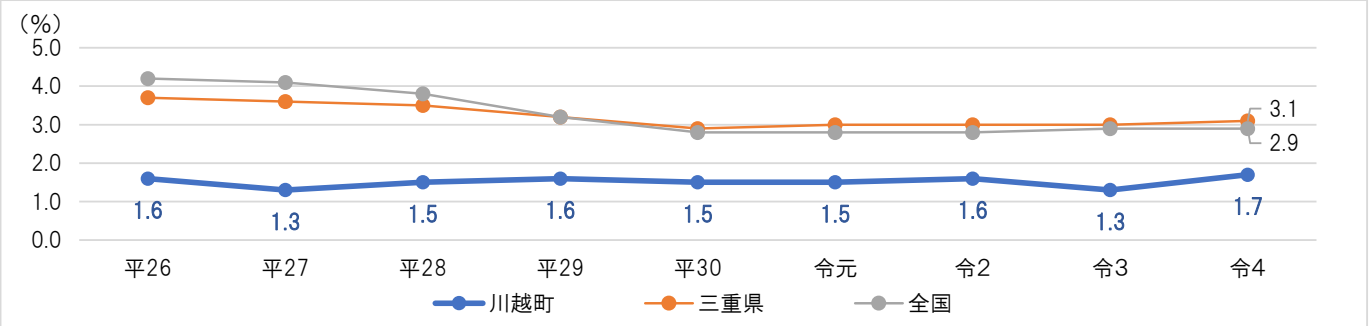


施設サービスの受給率は令和2年度で下げ止まり、その後、横ばいで推移しています(※平成29年度は地域密着型特養の異常値を反映していると考えられる)。北勢地域の中では、隣接する四日市市、朝日町、桑名市とはほぼ同水準となっています。

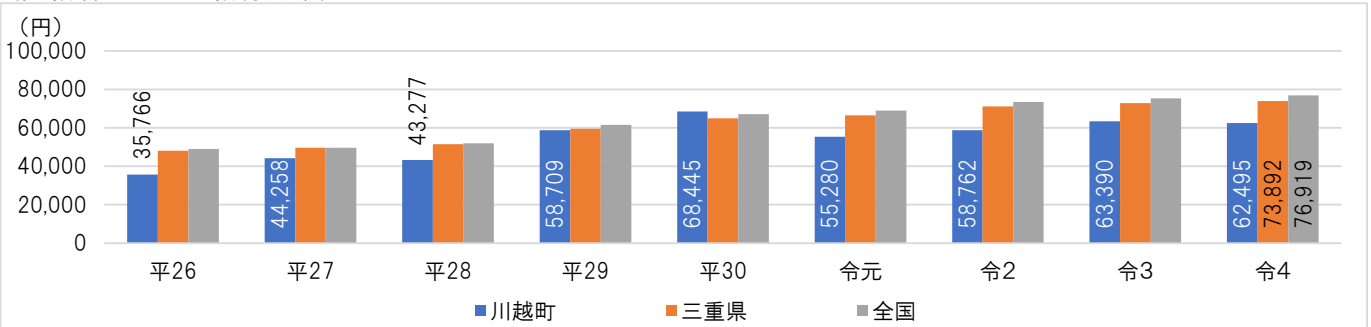
3 在宅サービスの受給率・給付月額と比較

※受給者1人あたり給付月額は、そのサービスの給付費総額をサービスを受けている人数で割ったものです。各年度のひと月平均の値を表しています。

①訪問介護 〔受給率〕



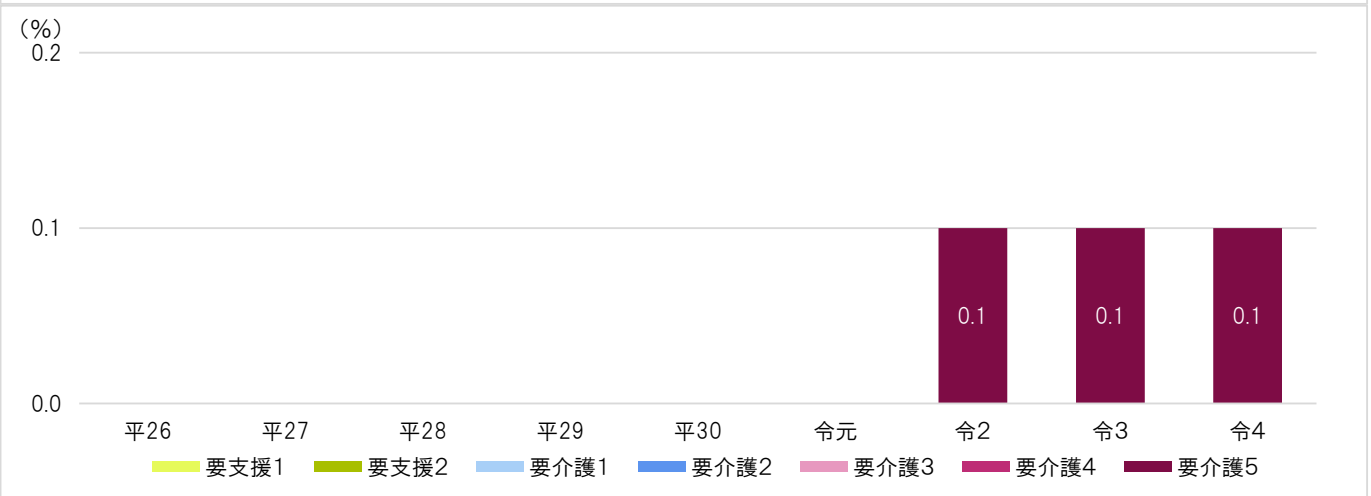
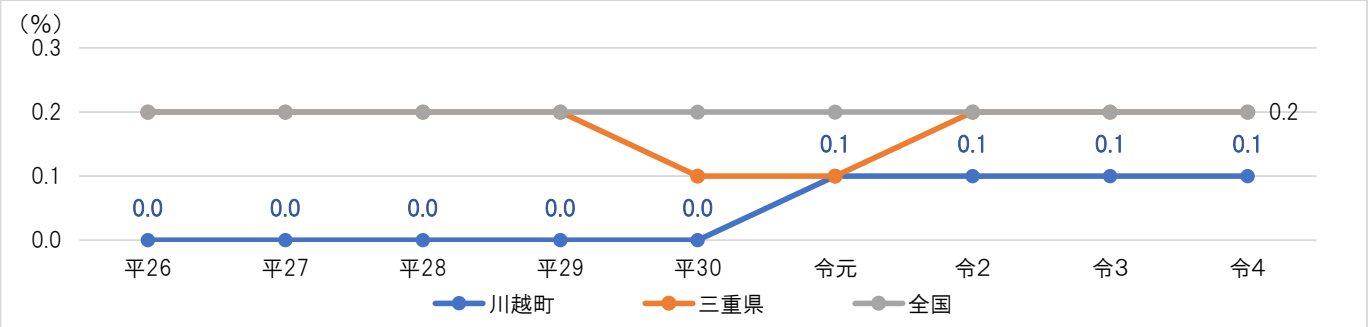
〔受給者1人あたり給付月額〕



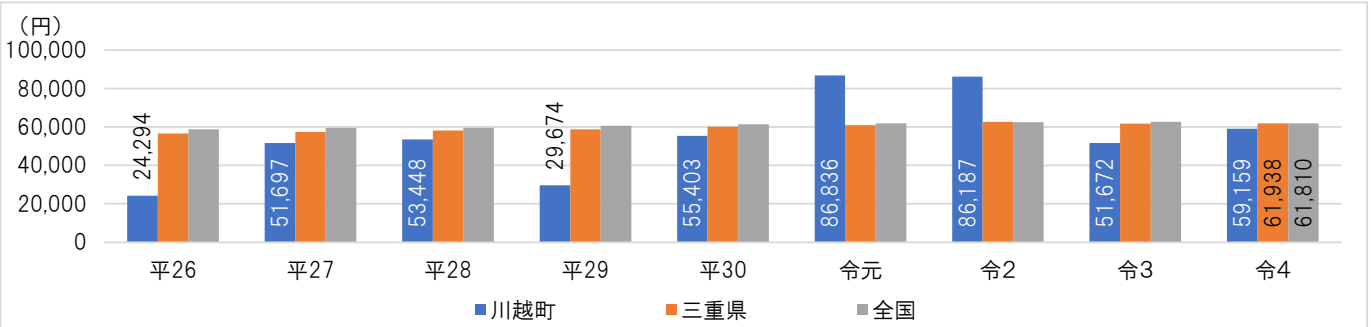
訪問介護の受給率は、国・県を大きく下回っています。ほぼ横ばいで推移してきましたが、令和3年度は新型コロナウイルスの影響により受給率の低下がみられ、令和4年度は逆に上昇しています。受給者1人あたりの給付月額についても国、県を大きく下回っています。

②訪問入浴介護

〔受給率〕



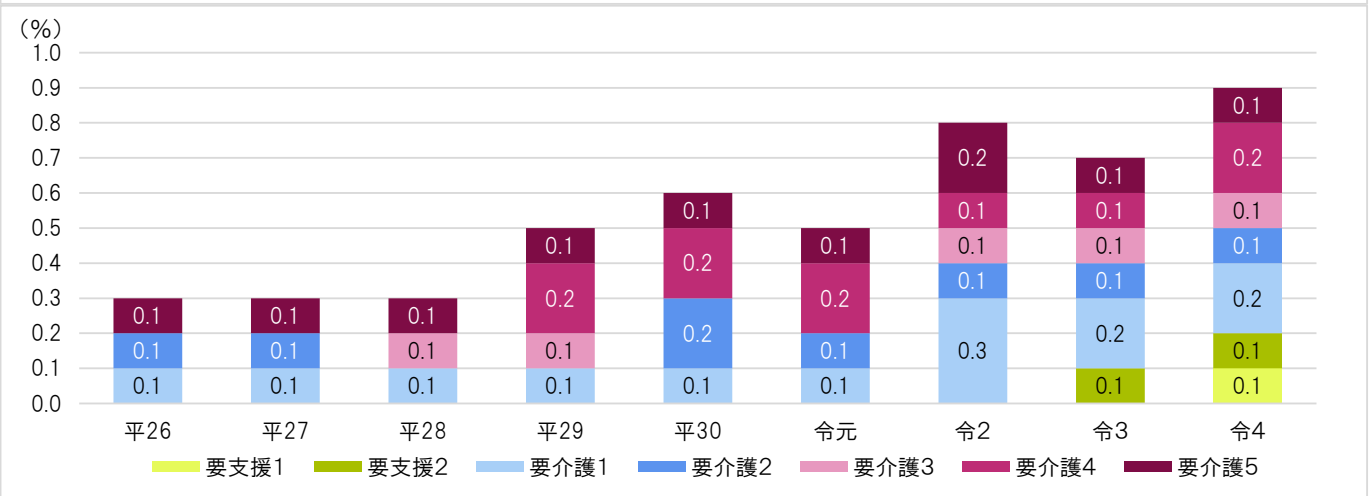
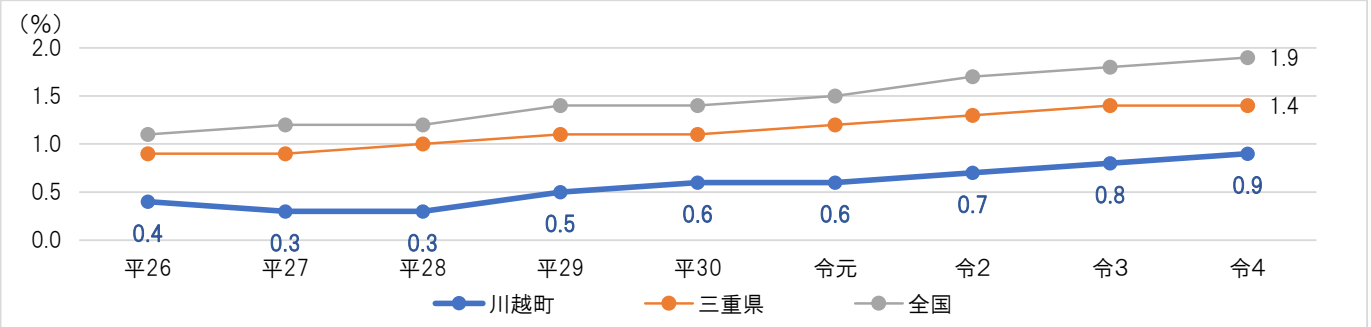
〔受給者1人あたり給付月額〕



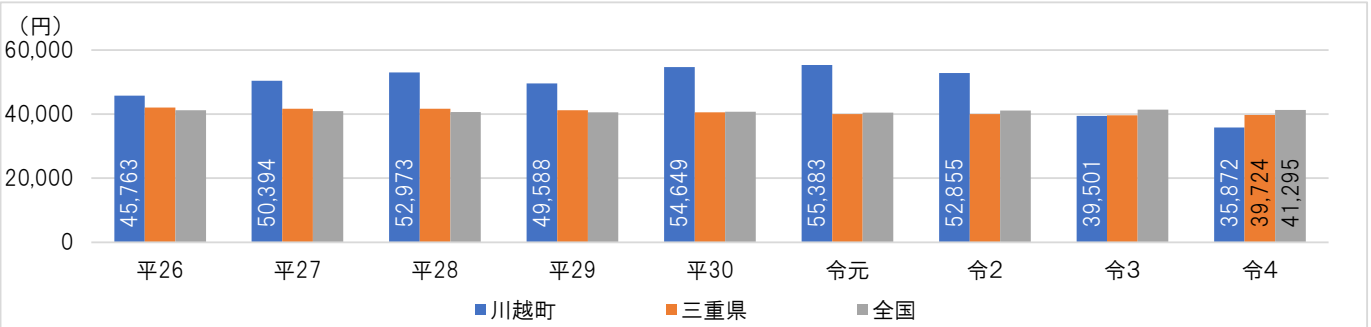
訪問入浴介護の受給率は非常に低く、国・県を下回って推移しています。
受給者1人あたり給付月額は、国、県とほぼ同水準です。

③訪問看護

〔受給率〕



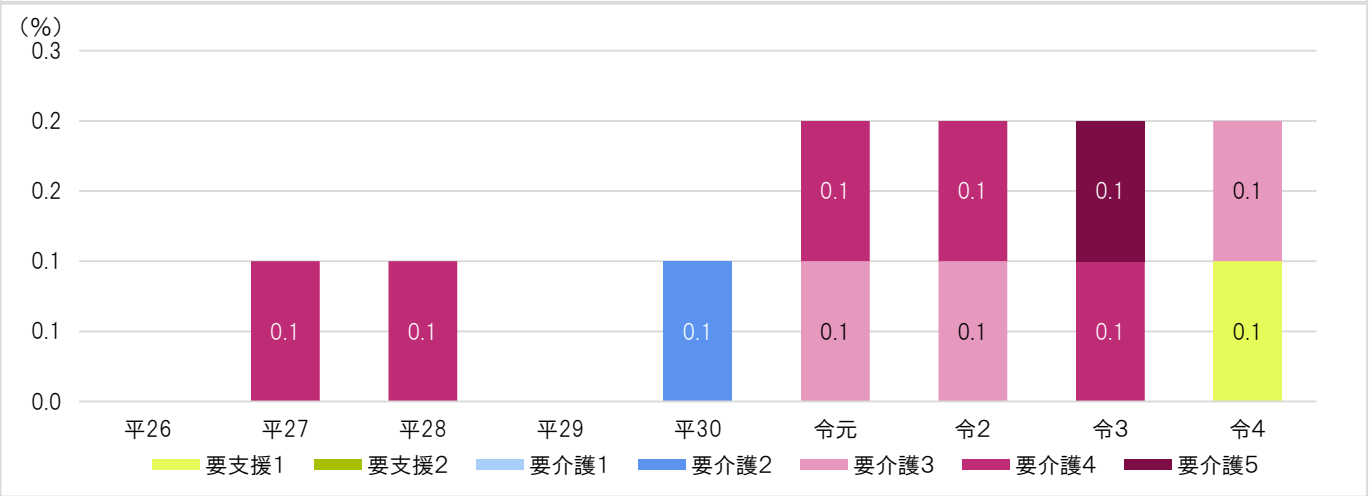
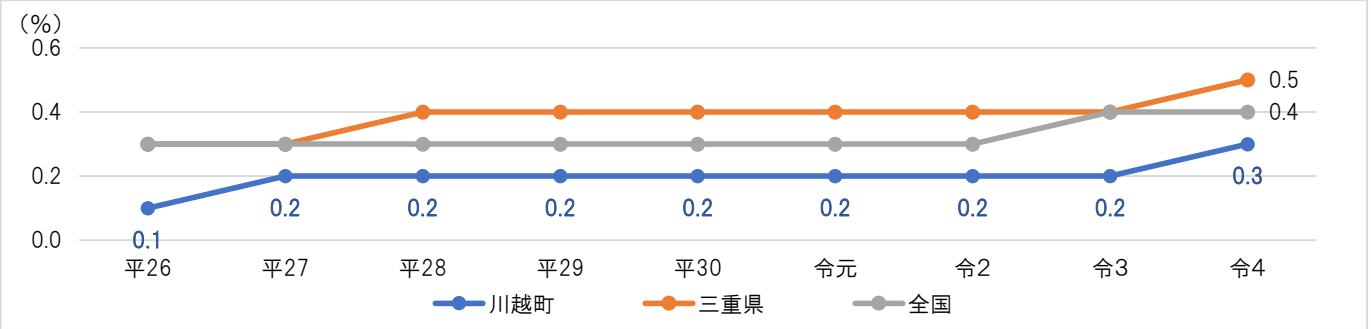
〔受給者1人あたり給付月額〕



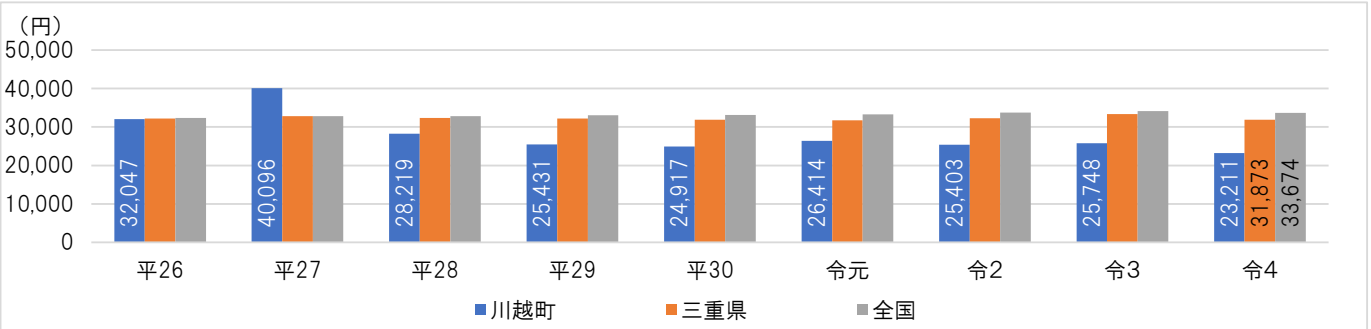
訪問看護の受給率は、国・県を大きく下回って推移していますが、国・県と同様、長期的には受給率が上昇する傾向にあります。受給者1人あたり給付月額は、国・県をやや下回っています。

④訪問リハビリテーション

〔受給率〕



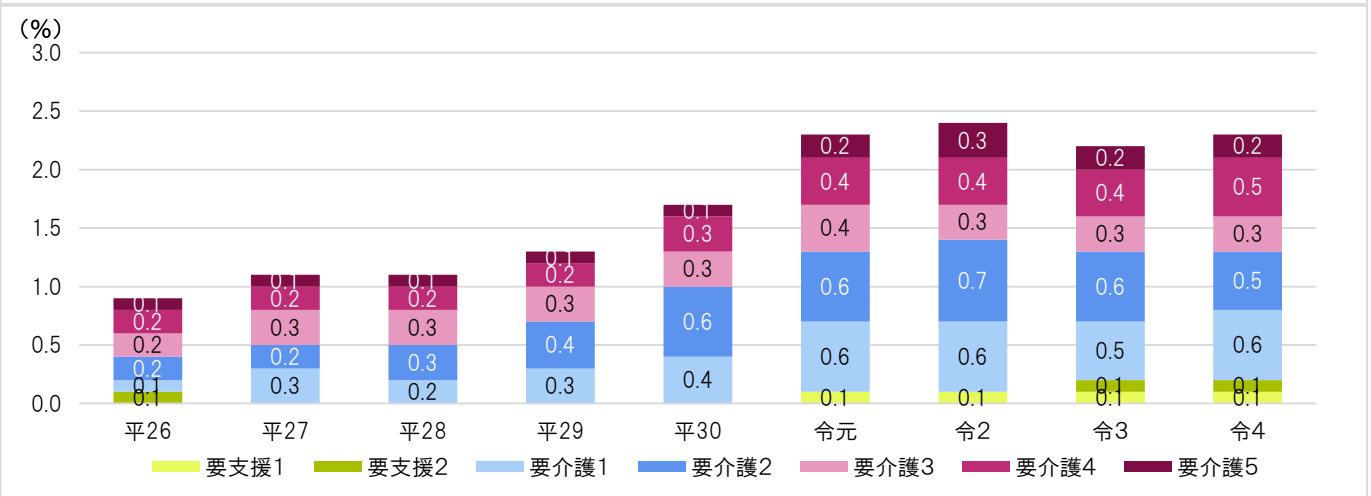
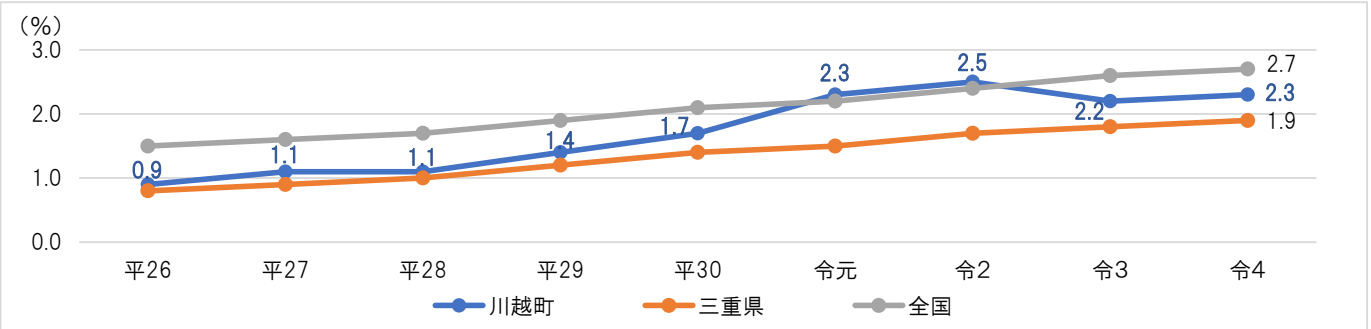
〔受給者1人あたり給付月額〕



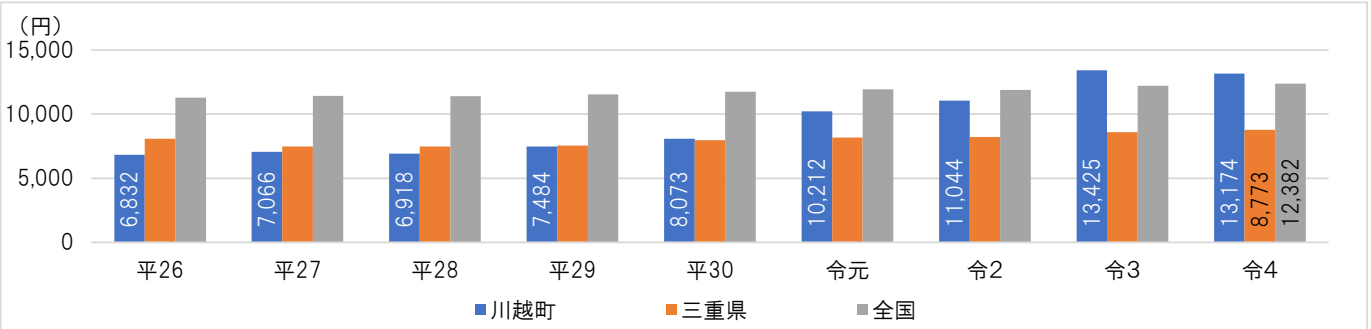
訪問リハビリテーションの受給率は非常に低く、国・県を下回って推移しています。
受給者1人あたり給付月額は、国・県をかなり下回っています。

⑤ 居宅療養管理指導

〔受給率〕



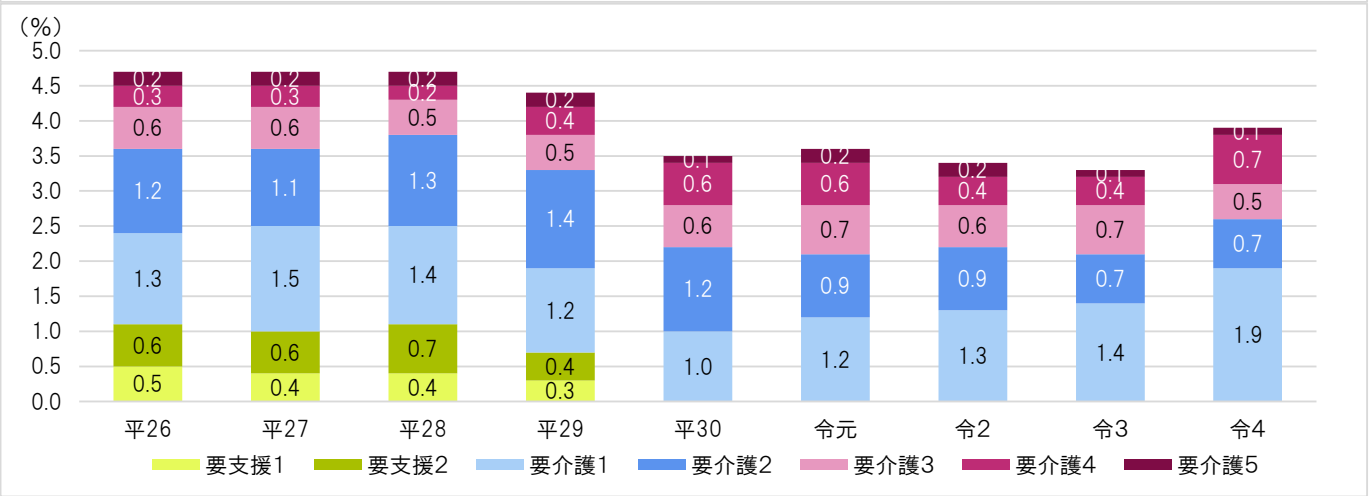
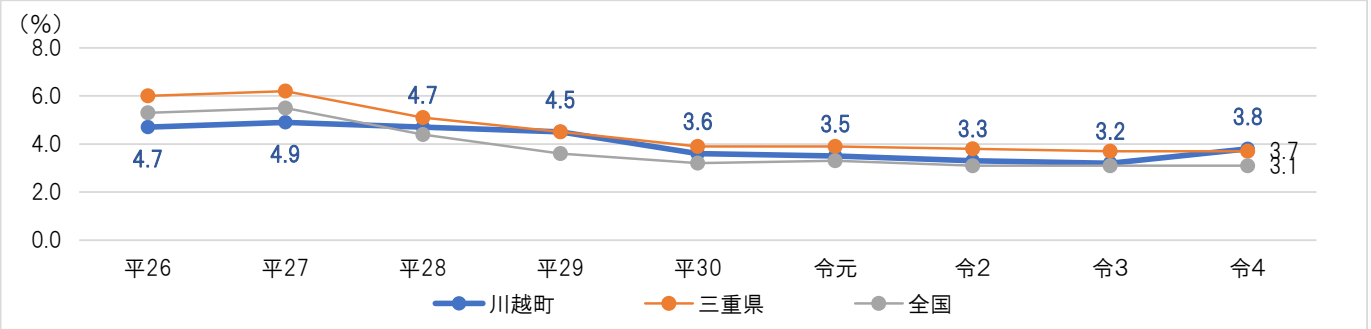
〔受給者1人あたり給付月額〕



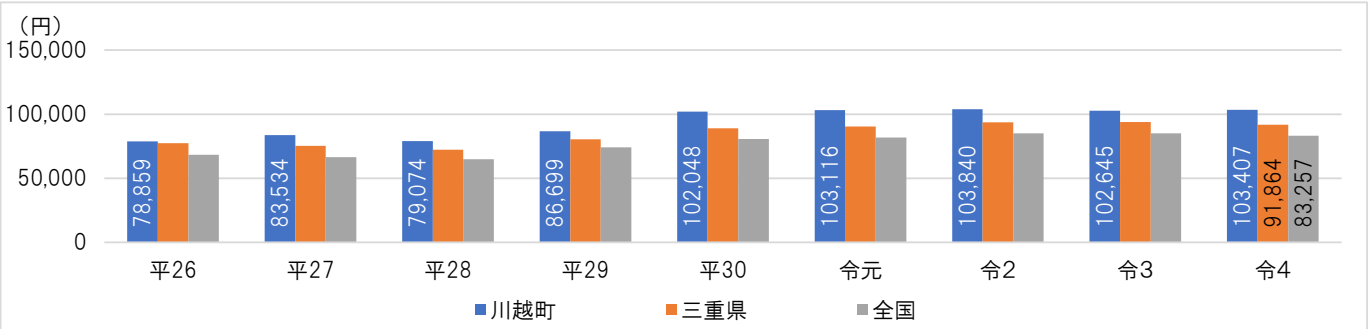
居宅療養管理指導の受給率は、国・県に近い水準で推移しており、国・県と同様、長期的には受給率が上昇する傾向にあります。受給者1人あたり給付月額は、国をやや上回り、県とはかなりの開きがあります。

⑥通所介護

〔受給率〕



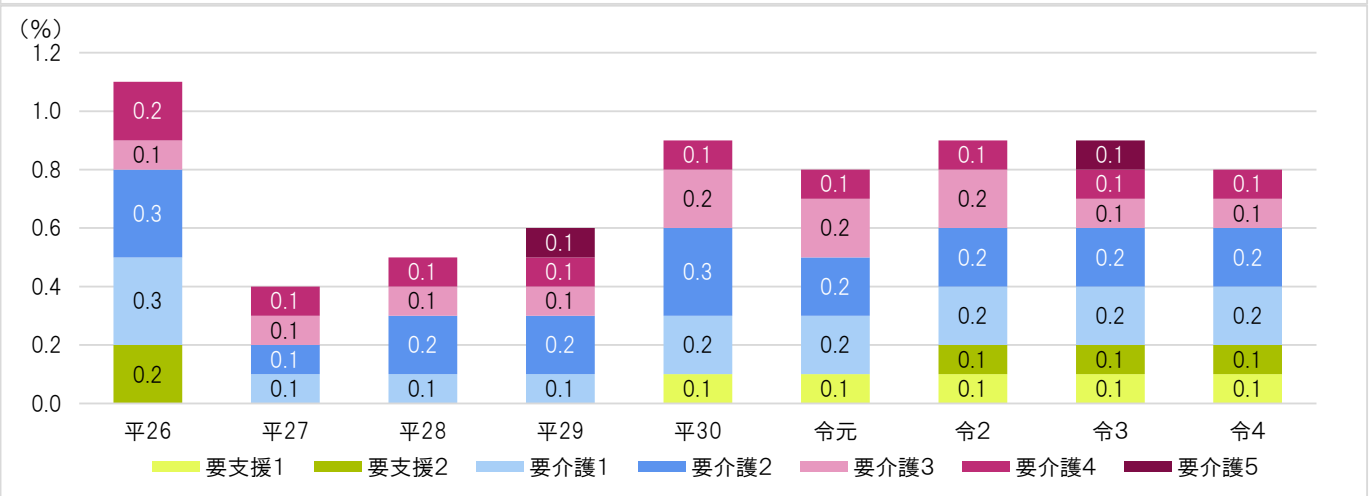
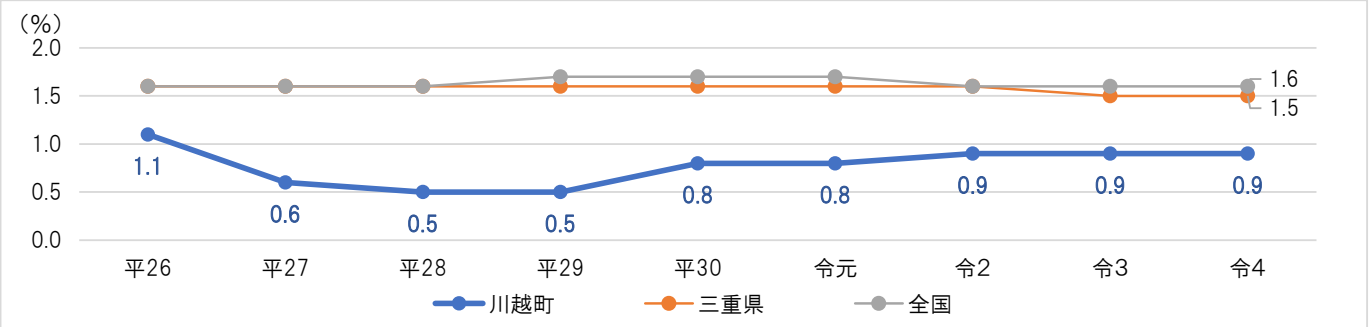
〔受給者1人あたり給付月額〕



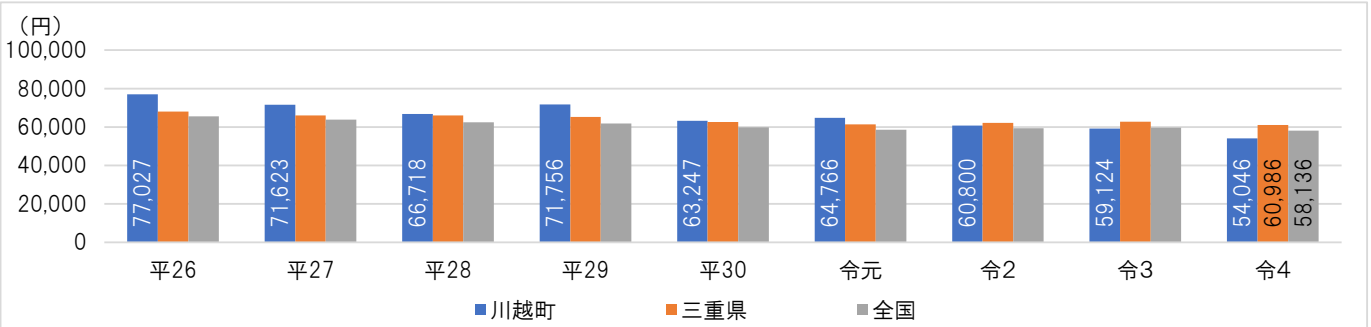
通所介護の受給率は、概ね国・県と同水準で推移してきています。令和元年度以降、国・県と同様に、ゆるやかな低下傾向にありましたが、令和4年度は前年比0.6ポイント上昇しています。受給者1人あたり給付月額は国、県を上回っています。

⑦通所リハビリテーション

〔受給率〕



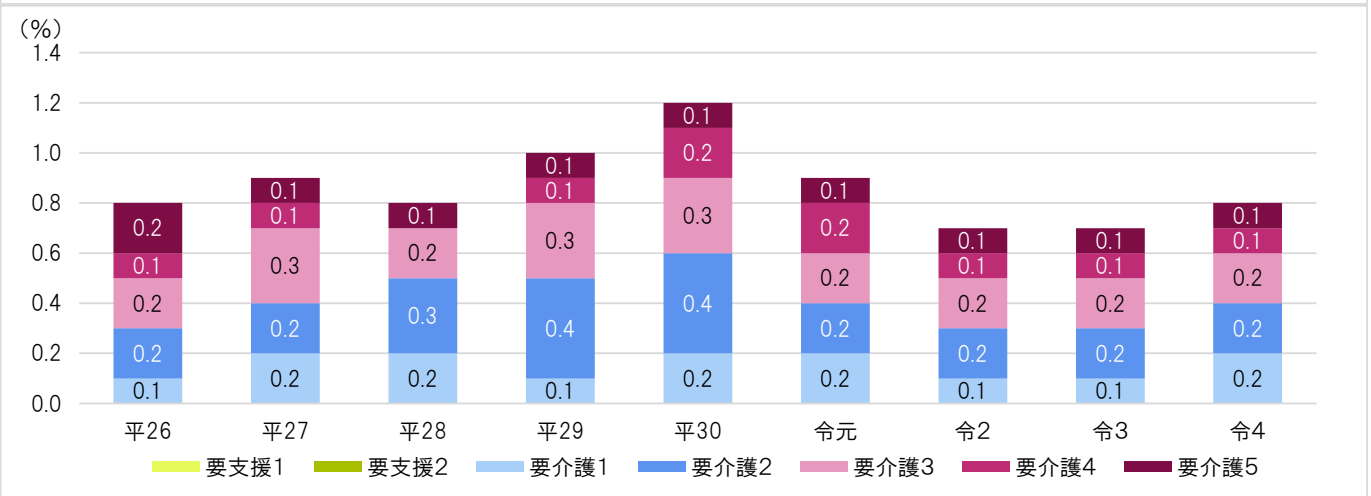
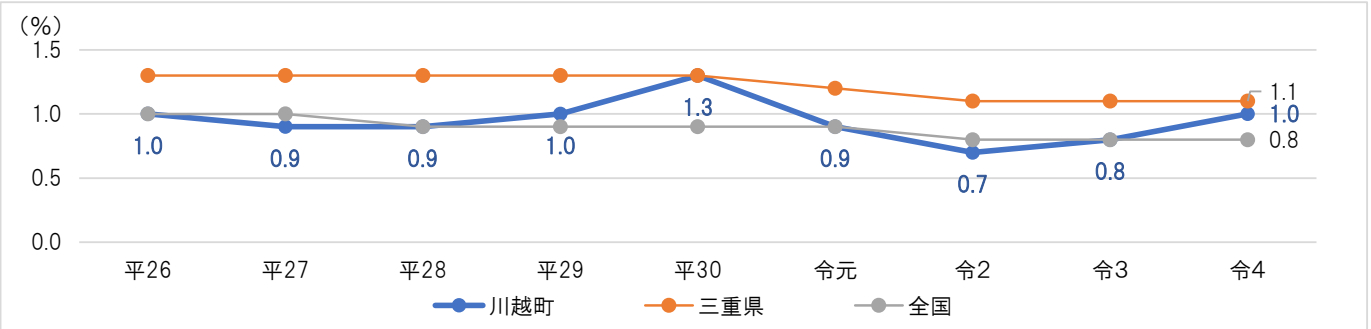
〔受給者1人あたり給付月額〕



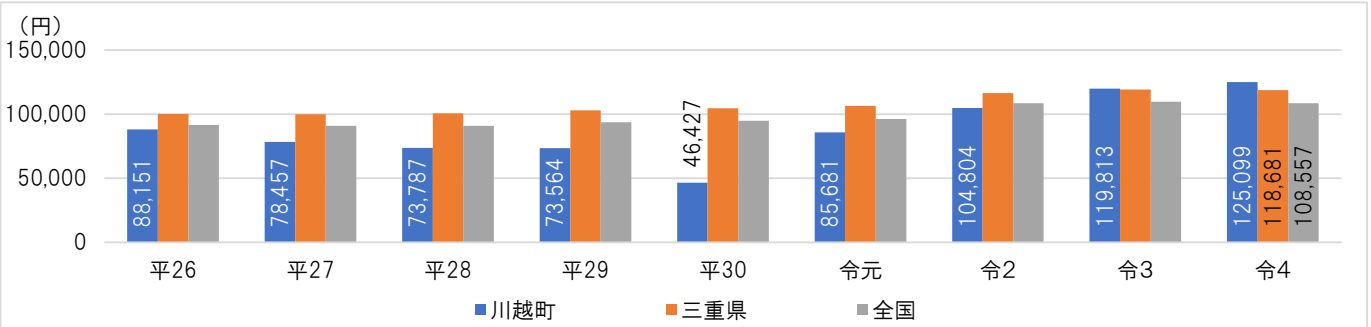
通所リハビリテーションの受給率は、国・県の水準を大きく下回っており、近年は横ばいで推移しています。受給者1人あたり給付月額は、徐々に減少する傾向にあり、国、県を下回ってきています。

⑧短期入所生活介護

[受給率]



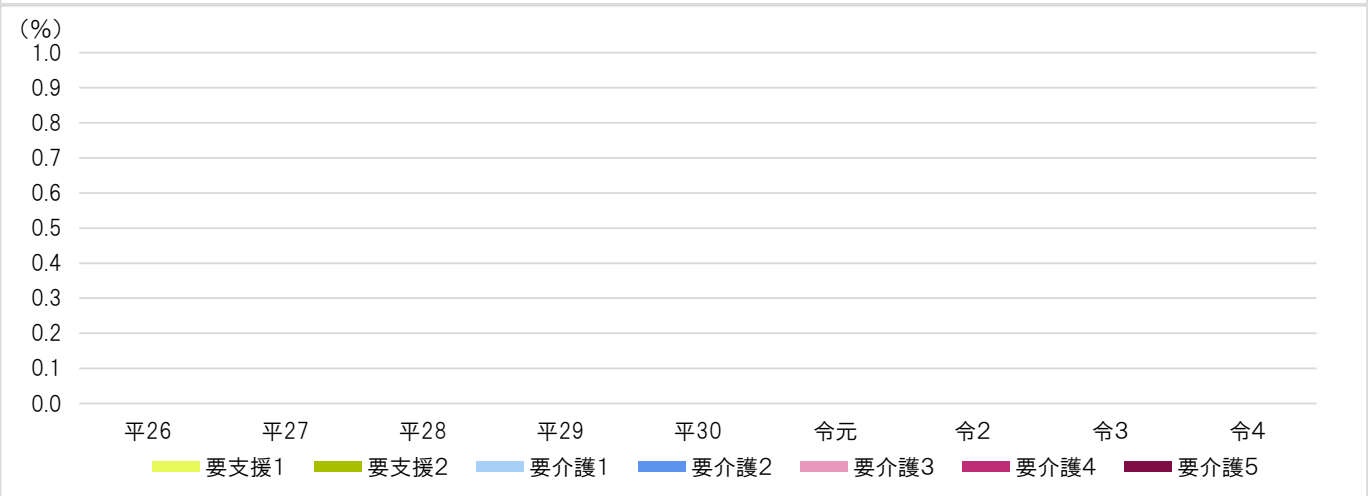
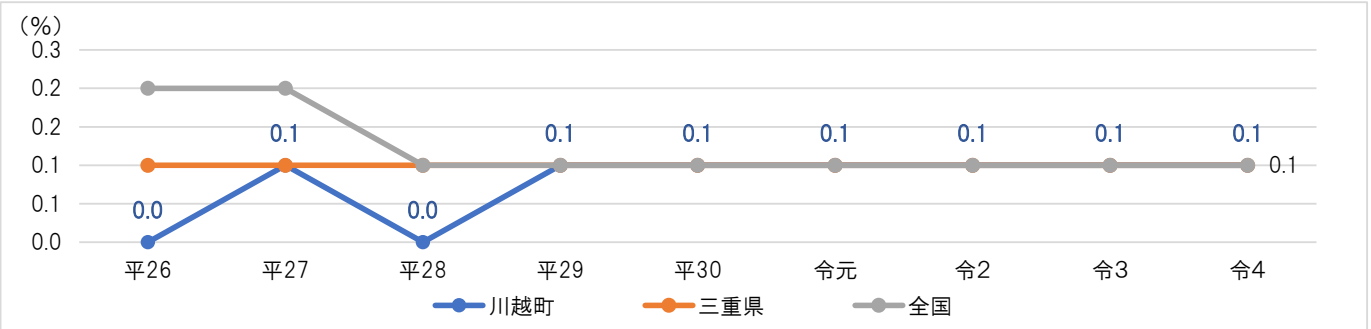
[受給者1人あたり給付月額]



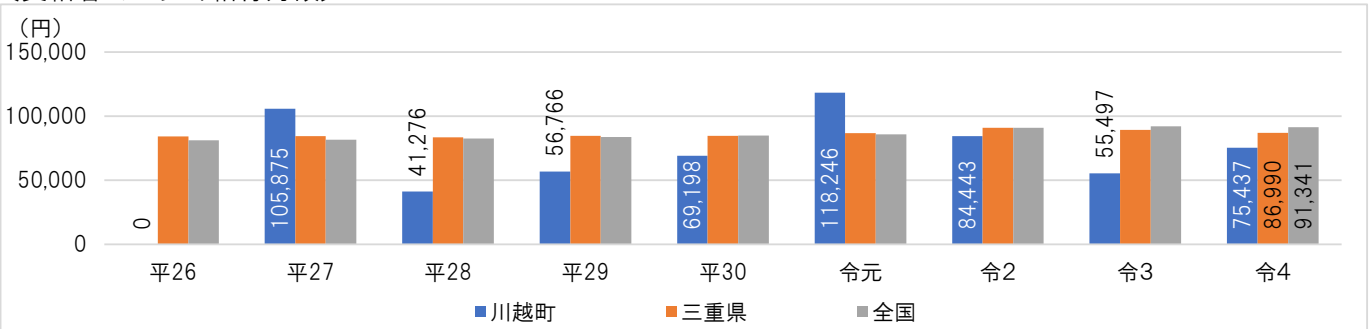
短期入所生活介護の受給率は、令和2年度まで低下傾向にありましたが、令和3年度以降は上昇傾向にあります。受給者1人あたり給付月額は増加傾向にあり、国、県を上回ってきています。

⑨短期入所療養介護

〔受給率〕

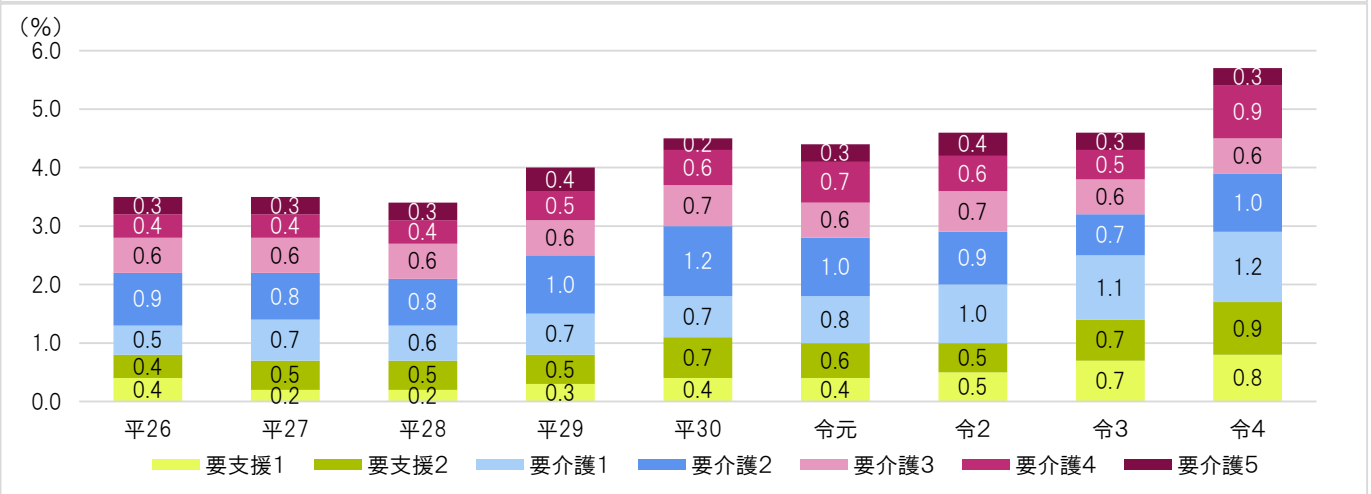
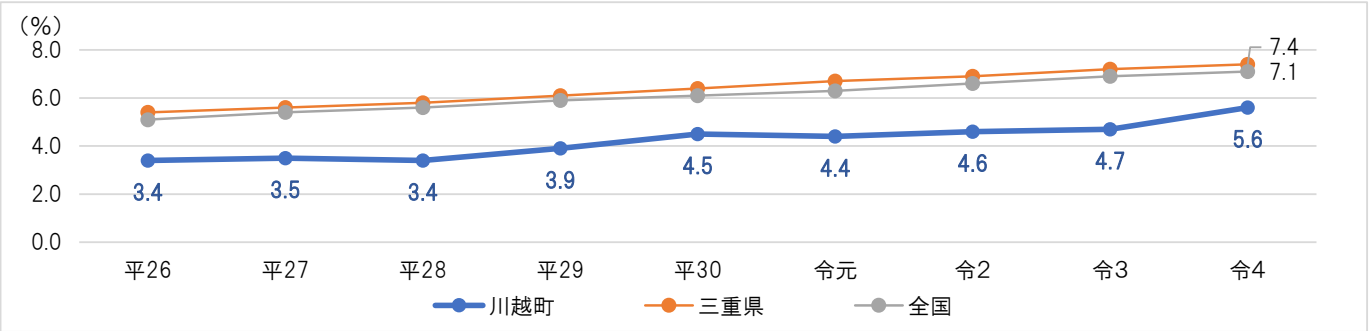


〔受給者1人あたり給付月額〕

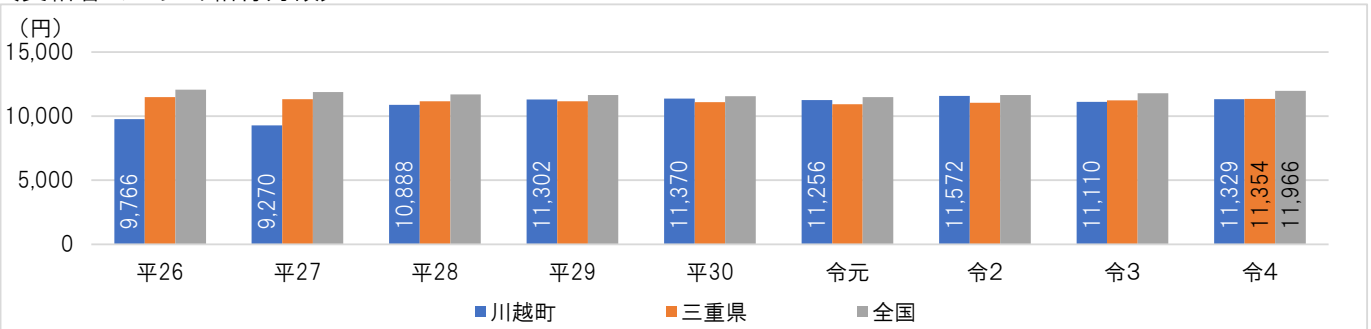


短期入所療養介護の受給率は非常に低く、国・県と同水準で推移しています。
受給者1人あたり給付月額は、国、県をやや下回っています。

⑩福祉用具貸与
〔受給率〕



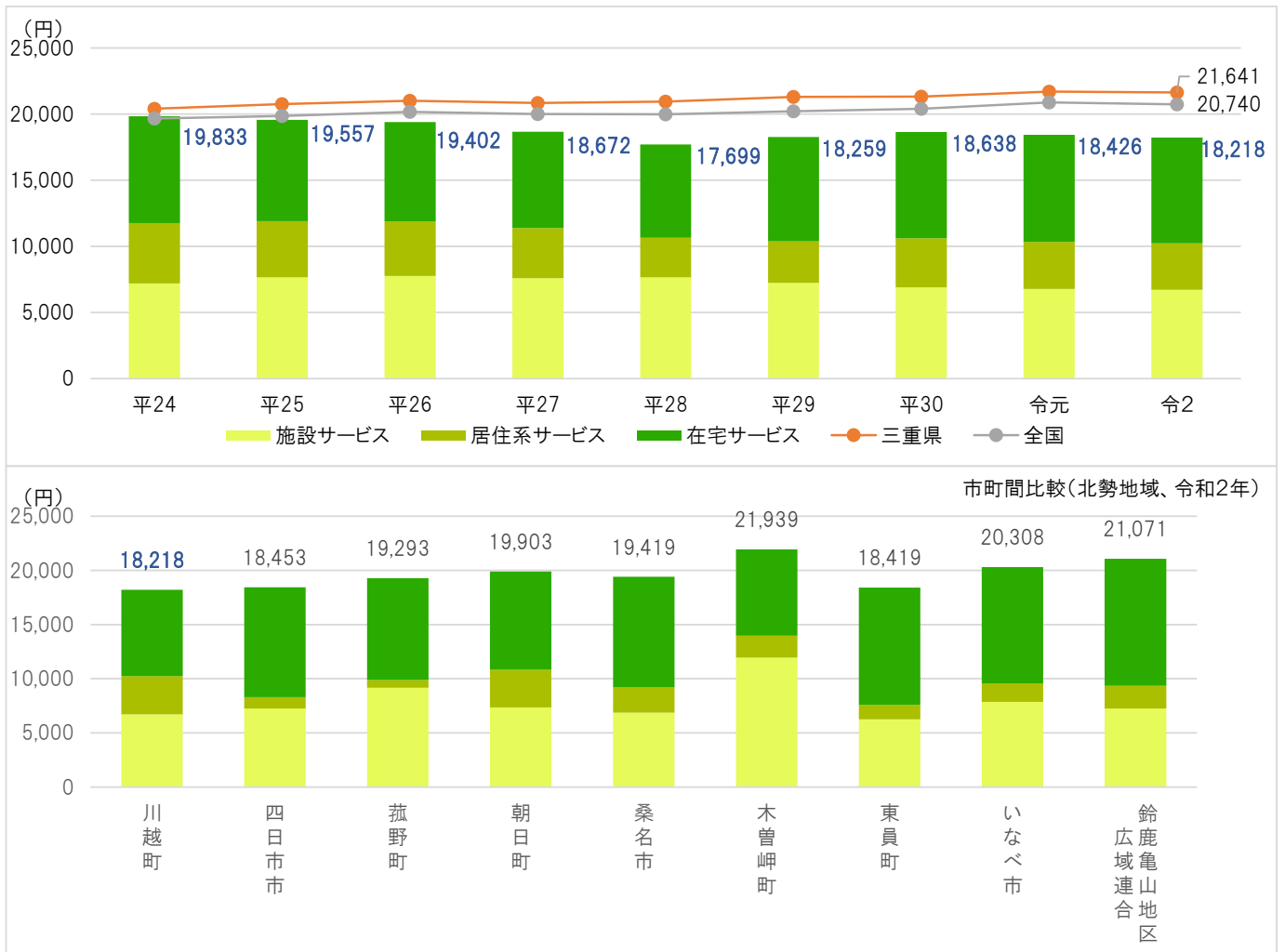
〔受給者1人あたり給付月額〕



福祉用具貸与の受給率は、国・県を大きく下回って推移しています。国・県が上昇を続けているなか、川越町では横ばい傾向が続いていましたが、令和4年度は大きく上昇しています。受給者1人あたり給付月額については横ばいで、国・県をやや下回っています。

4 調整済み第1号被保険者1人当たり給付月額（総額）の比較

※下記の数値は毎月の給付費総額を第1号被保険者の人数で割ったもので、各年度のひと月平均を表しています。年齢構成等の影響を省いた、調整済みの数値となっています。



被保険者1人当たりの給付月額は、国、県が微増傾向にあるのに反してやや減少傾向にあり、その差が開きつつあります。北勢地域の中でも、最も少なくなっています。